

議員として核兵器禁止条約を支持します

2008年7月1日、核不拡散条約（NPT）の40周年記念日に、PNND（核軍縮・不拡散議員連盟）ヨーロッパ議会支部が呼びかけた。

国会議員として、党派をこえて世界各国から以下のことを呼びかける。

私たちは、新しい国家への核兵器の拡散、テロリストが核兵器を入手したり生産する可能性、現在の保有国による核兵器の維持使用政策の継続、などがもたらしている脅威が高まっていることを、私たちは懸念する。

核兵器の拡散を阻止し、世界的な安全を達成するための唯一の確かな道は、決然として核兵器の全面禁止と完全廃棄に向かって歩むことであると、私たちは信じる。

国際司法裁判所によって確認された、厳密で効果的な国際管理の下におけるあらゆる側面の核軍縮を誠実に達成するべきであるという万人への義務を、私たちは真剣に受けとめる。

したがって、私たちは以下のことを訴える。

1. 世界規模の差別のない条約、すなわち核兵器禁止条約（NWC）を通して核拡散を阻止し、核兵器撤廃を達成する多国間交渉を呼びかける。

2. 実際の条約を達成するためのガイドとして、また、核兵器廃絶を可能にする法的、技術的、制度的、および政治的措置の探求例として、NPT準備委員会（NPT/CONF. 2010/PC. 1/WP. 17）および国連総会（UN Doc A/62/650）にコスタリカ及びマレーシアによって提出されたモデル核兵器禁止条約を支持する。

3. 核兵器の廃絶と完全廃棄は、多くのすでに出来上った措置や逐次達成される措置はもちろん、一連の同時進行する措置が関与するような複雑な過程となること、したがって、核兵器禁止条約は1個の条約になる可能性も複数協定のパッケージになる可能性もあることを認識する。

4. 核兵器禁止条約は、NPT、CTBT（包括的核実験禁止条約）、IAEA（国際原子力機関）など既存の不拡散・核軍縮条約を取り入れ、強化し、関連づけ、また発展させるものであることを強調する。

5. 交渉を促進し、世論を高め、核軍縮に向かう諸措置を特定し、条約を支持し履行するために各国がとり得る措置を示すために、それぞれの国会にモデル核兵器禁止条約を提出することを約束する。

私たちは、世界中の国会議員にこれらの努力に加わるよう呼びかける。

署名 _____